

箱根組ニュース

第294号 2017年 5月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

あきる野は花の香りがいっぱい、
弁天山から熊神社のミズバシジツの美しさに圧倒される！

4月16日、日曜日、新宿駅発7時44分のホリデー快速あきがわ3号武蔵五日市行きに乗車。数日前までの天気予報では傘マークがついていたが予報も変わって雲一つない日本晴れ。

武蔵五日市駅の一つ手前の武蔵増戸駅に8時44分着。駅を降りると甘い花の香りがホーム一杯に漂っていた。満開は過ぎていたが駅前の桜が初夏のような陽ざしの中、少し花びらを散らしながら輝いていた。

降り立ったのは、太田、星野(幸)、坂巻、川名、奥村、和田、宗像旦那、星野(絵)、神山、神吉、戸丸の11名。

8時55分、歩き出す。まぶしいような陽ざしの中の出発だ。突き当りの青梅信用金庫を左に曲がる。網代弁天山まで1.7キロの案内板がある。この通りは山田通りとある。左側にあきる野市民体育館五日市ファインプラザ。剣道の格好をした少年が入っていた。その先にJAあきがわ。

9時7分、山田の信号を渡った右側の

公園に入る。ここで体操をする。

9時25分、再出発。右側に信州安曇野そばと大きな布看板がある蕎麦屋、看板だけで美味しそうな気がする。

9時28分、大きな山田大橋の手前を川沿いに右に入ってゆく。左側は竹林、右側土手には紫色の花がいっぱい群れて咲いている、春爛漫だ。アユ放流の為に秋川全域で毛鉤釣り禁止と漁協の看板がある。高い位置にある個人宅用のような小さな陸橋をくぐる。

9時31分、網代橋を渡る。思ったより広く川の水がとてもきれいだ。川岸の新緑は芽吹いたばかりの柔らかい色だ。渡ったところにあきる野フォレスト河原あそびとバーベキュー場、利用料金(トイレ水道代)大人400円、子供300円、幼稚園児200円、保育園児200円とあるがちょっと高いような気がする。左側の竹林の青に山吹の黄色が映える。二輪草が群れて咲いている。

9時37分、左の緩い坂道に入ってく。反対側の民家の庭には赤い花桃、キ



しい。細い沢にそった小さな坂道を上る。小さな草むらは春の花畑になっていた。

ンカンの黄色、赤い木蓮、南天の赤が競っている。道端の二輪草の白が清楚に美



が圧倒する美しさとロケーションで迎えている。早くあの鳥居のところに行きたい気持ちを押さえられな

会計に入れました。昼食の残金330円を押し

40円切手	現在の収支	
82円切手	繰越収入	31222 円
139枚	支出	
	印刷費	1000 円
	コピー代	400 円
	現在高	30152 円

9時43分、公民館着。ここではすでに桜とミツバツツジがピンクと淡いピンクで共演していた。右側を見ると山の裾に赤い鳥居があり桜とツツジ

9時50分、出発。花いっぱい森に入つてゆく。ツツジとさくらのトンネルが迎えてくれた。その先には芽吹いたばかりの緑が待っていた。

10時15分、右側に洞窟

右、凱旋山の案内板。少し行くと分岐点に簡単なコース地図がある。武蔵増戸駅からは1.7キロ地点だ。「かたらいの道 秋川丘陵コース 網代弁天山園地案内図」とあり、弁天山山頂に向かって左回り、右回りのコースがある。書いてある。まずは左側のコースで200m先の貴志嶋神社に向かう。ちょっと不気味ともいえるマムシグサが青々とそして少し紫がかつた花？を付けている。10時3分、神社着。洞窟の看板に従って少し登ったが岩にへこみがある程度だった。あたりはツツジがきれい

集合 5月21日(日)
 京王線新宿駅 6:57発
 特急高尾山口行(前から3両目車内)
 途中駅発
 明大前7:03 調布7:12 府中7:18
 分倍河原7:20 聖蹟桜ヶ丘7:23
 高幡不動7:26 北野7:33
 高尾7:40着(JR乗換) 7:47発
 中央本線河口湖行 大月8:28着
 交通費 新宿~大月 片道940円
 他タクシー代が必要です。

次回は5月21日(日)雁ヶ腹摺山(1874m) レギュラーコース 歩行4時間
 旧五百円札の撮影地で有名。箱根組では久しぶりに行きます。大月からタクシーで大峠へ。下山は金山鉱泉からタクシーで大月に戻ります。
 ○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他
 申し込みは5月19日(金)までに

●お申し込み・お問い合わせ
 Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
 戸丸携帯 090-4541-7066
 携帯メール: satorutomaru@gmail.com
 メール: tomarusatoru@hotmail.com
 箱根組ホームページ
<http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/>



がある。2 mほど岩を登るとぼつかりと空いた入口がある。入つてみると天井も高く、奥行きは10数メートルはある見事なものだった。さっきの看板はここに付けるものだったのかもしれない。洞窟を楽しんでルートに戻る。ツツジのピンクを楽しみながら右回りに山を巻いてゆくと、これまたピンク一色の山頂付近に到着。ラクダ組と合流。

10時30分、弁天山に到着。ピンクの花越しに見える里山の風景は格別だ。ちらちらと桜の花が舞っているのもこの

時期ならではの楽しみだ。しばらく楽しんで記念撮影をする。他のお客さんも多いので山頂を譲る。

10時45分、下山。城山に向かう。しばらく行くと、この日では一番のやや急な丸木の階段が現れる。

11時15分、城山着。山としてはそれほどほどの展望ではないが、山頂部は広くここに昔網代城という山城があったことが感じられる。小峰公園方面に進む。少し自然林を行くとヒノキの森になり



階段状のルートを下りて行く。

11時37分、畑の横に出る。集落の端に着いたようだ。少し行くと車道に突き当たる。このあたりのソメイヨシノはまた見事で菜の花と競っていた。右に進み大通りを横切り、道なりに左方向へ行くともた左側に山道に入ってゆく。右方向に尾根が伸びていてここが前山公園。

12時、ここで昼食だ。今日はのらぼう菜と油揚げの味噌汁だ。いつもと同様にゆつくりと昼食。パーティを楽しむ。

1時45分、出発。大通りに出て車道を左に進み新小峰トンネルに入る、600mほどはあるだろうか、トンネルを出て右に入り緩い坂道を進む。

2時40分、第二の目的の今熊神社に到着。ミツバツツジが今まさに満開で圧倒される。戸倉三山に行くときにいつも立ち寄る神社だが、想像を超えるピンクの海に大感動。幸せいっぱいバスに乗って武蔵五日市駅に向かう。

打ち上げは男3人で神保町の魚金に行ったのだがここがまた最高だった。

※2017年 夏の予定

7月28日(金) 30日(日)

南アルプス仙丈ヶ岳テント泊

8月19日(土)、20日(日)

群馬・玉原高原バスツアー

